



SEE MORE JESUS • WANTTOSEEMORE.COM

聖書は勤勉について何を言っているか?— その2 ・ ストロング番号付きKJV聖句

PART 2 ・ 聖書の基礎的教理に基づく新しい研究

勤勉 — 聖書の基礎教理

開会の言葉

すべての信者はこの問いを尋ねる。「終わりの日に、自分が立つことをどうして知り得るのか」と。神の答えは感情ではなく、また疑いの中に残されたものでもない。神はその答えを人自身の手になおされ、それを勤勉と呼ばれる。それは体だけの労苦ではなく、また彷徨う心でもない。それは一つのことに定められた心の全体であり、恵みに恵みを加えることである。この書のどの約束も、怠け者には与えられていない。怠け者は道が険しいと言い、そして横になる。しかし勤勉な者は早く起き、探し求め、守り、労し、学ぶ。古い言葉では、勤勉な人と精錬された金の一つの言葉で呼ばれている。なぜなら金は道端に転がっているものではなく、掘り出されるものだからである。あなたが掘り出そうとしないものは、まだあなたが本当に望んでいないものである。あなたが日々掘り出すものを、神は必ずあなたのものとしてくださる。神はご自身を報いる者と呼ばれる——それはご自身がお選びになった名である——そして神は勤勉な者にご自身を結びつけられた。これらのことを行え、そうすればあなたは決してつまづかない。これらのことを行え、そうすれば門は大きく開かれる。それがこの学びがあなたの前に示す神である。これを探り究めよ。

本研究が答える三つの問い:

1. 信者たちは何を確実にするために励むよう命じられているか。また、これらのことを行う者は決して何をしないか。
2. 箴言は、勤勉な者の手、魂、思いについて、また怠惰な者について何と言っているか。
3. 神は誰に報いを与えられるか、また熱心な者は彼の来臨において彼にどのように見出されるか。

すでに据えられた基礎 — 勤勉

勤勉(スプーデー)=速さ+熱心さ+熱意——怠惰な者と怠け者に対抗するもの(ペテロ後書1:5、箴言12:24、箴言6:6-11)。

怠惰な者は貢を出す者となる+彼の畑はいばらにおおわれる(箴言12:24;箴言24:30-34)。

彼は彼を熱心に求める者に報いてくださる方であるからです(ヘブル人への手紙11:6)。

ヘブル人への手紙6章11-12節「わたしたちの願うところは、あなたがたがおののと同じ熱心を示して、望みの確かさに至るまで、終わりまで努め、怠ることなく、信仰と忍耐とをもって約束のものを受け継ぐ人々にならう者となることである。」

主にあってその御目に平安をもって見出されるために励みなさい(ペテロ後書3:14)。

すべての勤勉をつくして、あなたがたの信仰に加えなさい-->実を結ばず、むなしいものとならないために(ペテロ後書1:5-8)。

あなたの召しと選びを確かにするために、ますます励みなさい。そうすれば、決してつまずくことがない(ペテロ後書1:10)。

パート2は、新たな一連の証人たちによって同じ真理を確認します。

ギリシャ語キーワード

“勤勉” — **G4710 spoude** — 速さ、迅速、熱心、真剣さ

新しい言語における「勤勉」は速さを表す言葉である——それは急ぎ、ぐずぐずしない

“精励せよ” — **G4704 spoudazo** — 速さをを用いること、努力すること、迅速かつ真剣であること

一つの言葉が、学ぶこと、労すること、努めること、励むことの下に立っている——その命令はただ一つの命令である

“熱心に求める” — **G1567 ekzeteo** — 探し求めること、捜し出すこと、切望すること

望む者に報いが与えられるのではなく、事の終わりまで彼を求め続ける者に報いが与えられる

“怠惰な” — **G3576 nothros** — 遅い、のろい、鈍い

怠惰と対置される言葉——聞くに鈍く、受け継ぐに鈍い。怠る者は望みがないのではなく、行いがないのである。

“確か” — **G949 bebaios** — 安定した、速い、堅固な

勤勉は強く定まったものに至る——確かなものとされた召し、そして確実に不動なる錨に。

(私個人の考え——御霊はゼロス(G2205、熱)ではなく、スプーデ(G4710、勤勉)を選ばれた。これは速さを意味する。炉の中で火は熱く燃えても、決して動かないことがある。速さは進む。勤勉とは、家の中で心がどれほど熱く燃えているかではない——足が進むかどうかである。)

ヘブライ語キーワード

“勤勉な” — **H2742 charuts** — 鋭い、尖った、脱穀の器具が歯を持つように。また細かな金、地から掘り出されたもの。また決断。

勤勉な人、精錬された金、そして決断の谷 — この学びはその金を掘り出す

“勤勉” — **H4929 mishmar** — 見張り、監視、保管する場所

「あらゆる勤勉をもって」とは「あらゆる守りをもって」ということであり、心の上に見張りを置くこと、それはまるで都市の上に見張りを置くようなものである

“熱心に” — **H3966 me'od** — 力、勢い、非常に

「力を尽くして」と訳されるまさにこの言葉——勤勉とは全力を尽くした愛である

“早く求める” — **H7836 shachar** — 夜明けと共にある仕事に早く取り組むこと、朝早く求めること
夜明けとともに起きる、勤勉に求める者。彼は最後にではなく、まず第一に求める

“保つ” — **H8104 shamar** — 棘で囲むように用心する、守る、心を用いる
神が語られたことを注意深く守るとは、いばらの垣根をそのものの周りに巡らせ、何も盗まれないようにすることである

OPENING ANCHOR(冒頭のアンカー)

ペテロの第二の手紙 1:10 兄弟 たちよ。それだから、ますます 励 んで、あなたがたの 受 けた 召 しと 選 びとを、確 かなものにしなさい。そうすれば、決 してあやまちに 陥 ることはない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4704 spoudazo ・ ■ G949 bebaioi ・ ■ G4417 ptaio

勤めなさい → あなたがたの召しと選びとを確かなものにせよ → これらのことを行うならば、あなたがたは決して躓くことがない。

(私個人の思い——言葉の意味を聴きなさい。「励む」はスプーダゾー(G4704, give diligence)、速さを用いること。「確かな」はベバイオス(G949, sure)、堅く速いこと。「つまずく」はプタイオー(G4417, fall)、よろめくこと。速さを与えよ、そうすれば立つ所は堅く固まり、足は決してつまずくことがない。召しと選びは神のものであり、それを確かなものとするのは、召された者の励みである——これがこの学び全体を一行に凝縮したものである。)

I. 命令 — 学べ、努めよ、慎んで歩め

A. テモテへの第二の手紙 2:15 あなたは 真理 の 言葉 を 正 しく 教 え、恥 じる ところのない 錬 達 した 働 き 人 になって、神 に 自 分 を ささげる ように 努 めはげみなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4704 spoudazo ・ ■ G2040 ergates ・ ■ G3718 orthotomeo

研究 → 神に認められる者となる → 恥じることのない働き人、真理の言葉を正しく分かち者。

(私の個人的な考え——ここでの「study」は書物だけを意味するのではない。これはスプーダゾー(G4704, give diligence)であり、「give diligence」や「be diligent」と訳される同じ語である——速さを用いること、努力をなすことである。その働き人は、真理の言葉について速やかであったがゆえに、認められたのである。)

B. エペソ人への手紙 4:3 平和のきずなで 結 ばれて、聖 霊 による 一 致 を 守 り 続 ける ように 努 めなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4704 spoudazo

御霊の一致を保つように努める → 平和のきずなによって。

C. エペソ人への手紙 5:15 そこで、あなたがたの 歩 きかたによく 注 意 して、賢 くない 者 の ようにではなく、賢 い 者 の ように 歩 き、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G199 akribos

慎み深く歩め → 愚かなる者の如くせず、賢き者の如くせよ。

(私の個人的な考察——akribos(G199, diligently)は、ここでは「つつしみて」と訳されているが、正確に、精密にという意味であり、少しもいい加減さが無い。勤勉さとは単に速さだけではなく、一步一步に払われる注意深さのことである。)

II. 勤勉な者と怠惰な者 — 箴言の新たな証し

A. 箴言 10:4 手を 動 かすことを 怠 る 者は 貧 しくなり、勤 め 働 く 者 の 手 は 富 を 得 る。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H7423 remiyyah ・ ■ H2742 charuts

怠惰な手は貧しくなり、勤勉な手は富を得る。

B. 箴言 22:29 あなたはそのわざに 巧 みな 人 を 見 るか、そ の ような 人 は 王 の 前 に 立つが、卑 しい 人 々 の 前 には 立 たない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H4106 mahir

あなたはそのわざに巧みな人を見るか → そのような人は王の前に立つが。

(私個人の思いですが——ここでの「勤勉な」は第二のヘブライ語、マヒール(H4106, diligent)——速く、備えができていて、熟練していることを意味します。これは詩篇における「早く書く者」の言葉です。ハルーツ(H2742, diligent)は鋭い人を指し、マヒールは備えのできた人を指します。一つの言葉は切り込む力を表し、もう一つは速く動く力を表します——そして両者とも王たちの前に立つのです。)

C. 箴言 27:23 あなたの 羊 の 状態 を よく 知 り、あなたの 群 れに 心 を とめよ。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3045 yada

あなたの羊の状態をよく知り → あなたの群れに心をとめよ。

III. 怠らず、豊かにあふれる — 最後まで勤勉

A. ヘブル人への手紙 6:19 この望みは、わたしたちにとって、いわば、たましいを安全にし不動にする錨であり、かつ「幕の内」にはいり行かせるものである。

原語キー / STRONG' S: ■ G949 bebaios

たましいの錨であって、確かに堅固なもの。

B. ローマ人への手紙 12:8 勧めをする者であれば勧め、寄附する者は惜しみなく寄附し、指導する者は熱心に指導し、慈善をする者は快く慈善をすべきである。

原語キー / STRONG' S: ■ G4710 spoude

治める者は、勤勉をもって。

C. ローマ人への手紙 12:11 熱心で、うむことなく、霊に燃え、主に仕え、

原語キー / STRONG' S: ■ G3636 okneros ・ ■ G4710 spoude ・ ■ G2204 zeo

事業に怠らず、霊に燃え、主に仕えよ。

(私自身の考察——ここでの「勤め」という語は、スプーデー(G4710, 勤勉)そのものである。すなわち、勤勉において怠るなどということである。この戒めは商売についてのものではない。それは主に仕える上での魂の速さについてのものである。)

D. ユダの手紙 1:3 愛する者たちよ。わたしたちが共にあずかっている救について、あなたがたに書きおくりたいと心から願っていたので、聖徒たちによって、ひとたび伝えられた信仰のために戦うことを勧めるように、手紙をおくる必要を感じるに至った。

原語キー / STRONG' S: ■ G4710 spoude

私はすべての勤勉をもって書き送った——信仰のために力を尽くして戦え。

E. ペテロの第二の手紙 1:19 こうして、預言の言葉は、わたしたちにいっそう確実なものになった。あなたがたも、夜が明け、明星がのぼって、あなたがたの心の中を照すまで、この預言の言葉を暗やみに輝くともしびとして、それに目をとめているがよい。

原語キー / STRONG' S: ■ G949 bebaios

より確かな預言の言葉→光として、夜明けまで、それに心を留めよ。

IV. 報いてくださる方——彼を熱心に求める者たちに

A. マタイによる福音書 7:8 すべて求める者は得、捜す者は見だし、門をたたく者はあけてもらえるからである。

原語キー / STRONG' S: ■ G2212 zeteo

すべて求める者は得+捜す者は見だし。

B. イザヤ書 55:6 あなたがたは主にお会いすることのできるうちに、主を尋ねよ。近くおられるうちに呼び求めよ。

あなたがたは主にお会いすることのできるうちに→主を尋ねよ。近くおられるうちに呼び求めよ。

C. 詩篇 105:4 主とそのみ力とを求めよ、つねにそのみ顔を尋ねよ。

原語キー / STRONG' S: ■ H1245 baqash

主とそのみ力とを求めよ→つねにそのみ顔を尋ねよ。

二人の口——守るべき務めは、二人また三人の口によって確立される

申命記 4:9 ただあなたはみずから慎み、またあなた自身をよく守りなさい。そして目に見たことを忘れず、生きながらえている間、それらの事をあなたの心から離してはならない。またそれらのことを、あなたの子孫に知らせなければならない。

原語キー / STRONG' S: ■ H8104 shamar ・ ■ H3966 me'od

みずから慎み、汝の靈魂を深く守り、汝の見たる事を忘れず、汝がこれを汝の子等に教えよ。

箴言 4:23 油断することなく、あなたの心を守れ、命の泉は、これから流れ出るからである。

原語キー / STRONG' S: ■ H5341 natsar ・ ■ H4929 mishmar

油断することなく、あなたの心を守れ→命の泉は、これから流れ出るからである。

ユダの手紙 1:21 神の愛の中に自らを保ち、永遠のいのちを目あてとして、わたしたちの主イエス・キリストのあわれみを待ち望みなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5083 tereo

自分自身を神の愛の中に保て。→ 永遠のいのちに至る憐れみを待ち望みつ。

(私個人の思い—二人の証人の口によって言葉は確立される。ここに三人目の口もまた同じことを語る。三つ撚りの糸は簡単には切れない。モーセは言う、あなたの魂を熱心に守れ、と。箴言は言う、あらゆる熱心をもってあなたの心を守れ、と。ユダは言う、あなた自身を神の愛の中に保て、と。三つの保つこと、一つの熱心。言語に注目せよ。古い「保つ」はシャーマル(H8104)とナーツアル(H5341)、垣根と見張りである。ユダの「保つ」はテーレオー(G5083)、目をもって守るがごとくである。二つの言語、一つの命令—神があなたに与えられたもの、それを見張れ。)

影と実現

地面に映る影を思い浮かべてほしい。その形は見えても、形だけでは何がその影を作っているのかは分からない—それは何か一つのものかもしれないし、同じくらいの大きさの別の何かかもしれない。影だけを見ている限り、推測することしかできない。真の光が実物を示してくれるまで、影は謎のままである。それから振り返って影を見ると、それがずっとその物の形であったことが分かる。それが旧約聖書に描かれた事柄である。それらは本物の影であり、本物の実体によって真に形作られたものである—「これらは来たるべき事の影であって、実体はキリストにある」(コロサイ2:17)。しかし影は「そのものの真の形」ではない(ヘブル10:1)ので、影だけからその全体の真理を読み取ることは誰にもできなかった。キリストが来られたとき、光が実体を示した—そして今、私たちは振り返って影を見て、それがずっと誰の形を宿していたのかを知るのである。

Shadow 申命記 6:17 あなたがたの神、主があなたがたに命じられた命令と、あかしと、定めとを、努めて守らなければならない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H8104 shamar

あなたがたの神、主があなたがたに命じられた命令と。

Fulfillment テトスへの手紙 3:8 この言葉は確実である。わたしは、あなたがそれらのことを主張するのを願っている。それは、神を信じている者たちが、努めて良いわざを励むことを心がけるようになるためである。これは良いことであって、人々の益となる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5431 phrontizo

善い行いを保つことに心を配りなさい。それは良いことであり、人々に有益なことです。

(私個人の思い—それは同じ勤勉さが、向きを変えたものである。モーセのもとでは、石に書かれた戒めについて垂を守っていた。キリストにおいては、すでに信じられた信仰から流れ出る善い行いを維持することに注意を払う。勤勉さは決して廃されたのではなく、成就されたのである。律法を守ることは、生きた信仰の働きを維持することとなった。)

閉会

イザヤ書 40:31 しかし主を待ち望む者は新たなる力を得、わしのように翼をはって、のぼることができる。走っても疲れることなく、歩いても弱ることはない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H6960 qavah

主を待ち望む者は新たなる力を得ん——走りて疲れず。

ペテロの第二の手紙 1:11 こうして、わたしたちの主また救主イエス・キリストの永遠の国に入る恵みが、あなたがたに豊かに与えられるからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2023 epichoregeo

こうして、わたしたちの主また救主イエス・キリストの永遠の国に入る恵みが。

(私個人の思い—ここに、この研究全体を一息で述べてみます。神は人を、自分が立ち続けられるかどうかと思い煩わせたままにはされませんでした。神はその事柄を、その人自身の手に乗せ、それを勤勉と呼ばれたのです。勤勉を尽くせば、召しは確かなものとなり、足は決してつまずくことはありません。手を怠ければ、魂は望んでも何も得られません。勤勉な手は治め、勤勉な魂は肥え、勤勉な人は王たちの前に立ちます。そしてこれらすべてにまして、神ご自身を、ご自分を求める者たちに報いを与える者と名乗られるのです。それゆえ、あなたの心を守り、あなたの魂を守り、あなた自身を守りなさい。学び、努め、慎み深く歩みなさい。倦むことなかれ、刈り取りの季節は定められているのですから。あなたに走るよう召し出されたその同じ神が、永遠の御国への入り口が大きく開かれるまで、走り続けるための力を新たにすると約束してくださったのです。)

練習クイズ

1. ペテロの第二の書 1:10 — ますます励んで、あなたがたの受けた召しと選びとを:
 - a) 堅固な
確かなもの
 - c) 豊富な
2. 箴言 10:4 — 勤め働く者の手:
 - a) 貴重である
 - b) 治める(おさめる)であろう
富を得る
3. エペソ人への書5章15節 — そこで、あなたがたの歩きかたによく注意して:
 - a) 歩きかたによく注意して、賢くない者のようにではなく、賢い者のように
 - b) 主にふさわしく、すべての点で御心にかなう
 - c) 御霊において
4. テモテへの第二の手紙 2:15 — あなたは真理の言葉を正しく教え、恥じるところのない、神に自分をささげるように努めはげみなさい:
 - a) いのちの言葉
 - b) 約束の言葉
真理の言葉
5. マタイ7:8 — すべて求める者は得、捜す者は
 - a) 休みを得る
見いだし
 - c) 満たされる
6. 箴言4:23 — 油断することなく、あなたの心を守れ、これから流れ出るからである:
 - a) 悪い思いが出て来る
 - b) 命の泉である
命の泉
7. イザヤ書40:31 — 主を待ち望む者は新たなる力を得、わしのように翼をはって、のぼることができる。走っても疲れることなく、歩いても弱ることはない。
わしのように翼をはって、のぼることができる
 - b) 王たちの前に立つ
 - c) 決して倒れない

解答:1-b, 2-c, 3-a, 4-c, 5-b, 6-c, 7-a

このスタディの分岐

影がどのように光をもたらすか:かつて石の板に向けられた勤勉(申命記6:17)は、今は生きた信仰から流れ出る善い行いを保つことに向けられている(テトスへの書3:8)。守られた戒めは、保たれる善い行いとなる。

新しい契約がそれをどのように開くか。「勤め励め」は、それ自身に属する一群の命令によって開かれる——学び励め(テモテ後書2:15)、努め(エペソ書4:3)、慎んで歩め(エペソ書5:15)。ひとつの言葉、スプーダゾー(G4704、勤め励め)が、幾つかの言い方で語られている。

→言葉の重要性:勤勉を表すヘブル語(CHARUTS、H2742、DILIGENT)は、精金、鋭い、決断という意味も持つ。勤勉を表すギリシャ語(SPOUDE、G4710、DILIGENCE)は速さを意味する。勤勉な人とは、決断し、動く人である。

これがあなたにどう当てはまるか:何にも増して心を守れ(箴言4:23)。勤めを怠ることなく(ローマ人への手紙12:11)。主に見出されるうちに主を求めよ(イザヤ書55:6)。勤勉は今日、あなたの手のなし得ることから始まる。

→これが永遠にとって意味すること、すなわち永遠の御国に入る門が豊かに与えられるであろう(ペテロ後書1:11)。勤勉はこの世の命のためだけのものではなく、来るべき世を確かなものとするものである。

わき道:「熱心に努める」(SPOUDAZO, G4704)は、「御霊による一致を熱心に保つ」(エペソ人への手紙4:3)の背後にある言葉でもある——この一語の語族をたどり、書簡全体を通して熱心さが何に注がれているかを見てみよ。

救われるためには何をしなければならないか

「救われるためには何をすべきか」という私たちの聖書研究をご覧ください

SOURCES & CREDITS

Scripture: Kougo (Colloquial) (Public Domain (1955 口語訳聖書 — Japan Bible Society's own copyright page confirms the copyright protection period has ended; see registry/JAPANESE_LEGAL_PATH.md. Moral/integrity rights are preserved under Japanese law, so the text is rendered verbatim only, never altered -- pipeline.VERBATIM_LANGS.)) — a redistributable edition, looked up exactly and never machine-translated.

Alternate chapter/verse numbering reconciled with STEP Bible TVTMS (CC BY 4.0).

Strong's numbering & original-language data: OpenScriptures Hebrew Bible (CC BY 4.0); STEP Bible.org — TAHOT/TAGNT/TBESH/TBESG (CC BY 4.0); Robinson-Pierpont Byzantine Majority Text (Public Domain); Strong's dictionary, 1890 (Public Domain).

Typography: Google Noto fonts (SIL Open Font License 1.1).

© SEE MORE JESUS • wanttoseemore.com — shared under Creative Commons Attribution 4.0 (CC BY 4.0).